

## ヴォリュームアキュライザーの導入(1) －仕様と評価計画－

### 1. 始めに

インフラノイズ社から、[ヴォリュームアキュライザーVRA-7が発売されたとの情報](#)を入手し、すでにデジタルアキュライザーDACU-500とUSBアキュライザーUACU-700、アナログアキュライザーAACU-1000、バランスアナログアキュライザーAACU-1000などを使用していますので、今回の新製品に期待して早速導入することにしました。

### 2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の情報収集

これらについて、すでに[Web情報紹介【2021No.35】](#)でも紹介していますが、ステレオ誌9月号にも紹介記事があります。インフラノイズ社のホームページなど、ネット上に得られた仕様などの情報の要約は下記のとおりです。



インフラノイズ社が開発した、ヴォリュームアキュライザーVRA-7は、一言でいうと、ヴォリュームの抵抗素子の不要振動を整えるというアクセサリです。これまでのアキュライザーシリーズは、オーディオ信号に混じった高周波雑音を整理して音質劣化を防ぐものでしたので、原理的には異なるものです。

#### [規格]

- 内容 : ステレオ、モノ兼用抵抗素子整音デバイス
- 外形寸法 : 直径47mm × 厚さ19mm
- 重量 : 15g
- 構造 : 振動吸収体、整音ロッド 共振アルミチューブ、両面テープ

使い方は、プリアンプ、プリメインアンプ、メインアンプのヴォリュームノブに両面テープで貼り付けるだけで、脱着可能です。フェーダーを使用の場合は、フェーダーボックスのパネル表面、ノブに近い場所、あるいはフェーダー本体に貼ります。

す。注意事項として、ロータリーエンコーダーやリモコンで音量調整を行うデジタルボリュームやNFループゲインで音量調整を行うアンプのボリュームでは効果が期待できないそうです。付属の粘着テープがなくなれば、市販の同種の両面テープが使用できるとのことです。

開発の動機は、スピーカーの音質向上の試みから、ドイツ製プロ用フェーダーの効果が素晴らしいことに気が付き、何とか通常の機器でもそういった効果が期待できないかということから始まったそうで、現在使用中のアンプを買い替える事なく大幅な音質アップ、普及型プリメインアンプがハイエンドクラス、いやそれ以上に変身する可能性があり、音楽に踏み込んだ別次元の効果が期待できるとのことです。

### 3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の評価計画

現在使用している機器で音量調節機能がある機器は下記のとおりです。

アテネーター・フェーダー

**FIDERIX** 抵抗切り替え型アテネーター**TruPhase**

**ExPro** 巻き線抵抗型アテネーター **SV-1**

**P&G** ユニット組み込み しなの音蔵フェーダー

プリアンプ

若松通商 **Mranz7** タイププリアンプ

**Leak Point1** プリアンプ

しなの音蔵オリジナルプリアンプ

プリメインアンプ

**Rogers Cadet III** プリメインアンプ

三栄無線 **EL84** シングルアンプ

ステレオ誌付録デジタルアンプ

ヴォリューム付き DAC

**MYTEK Brooklyn DAC+** デジタルヴォリューム／アナログヴォリューム

**OPPO Sonica DAC** デジタルヴォリューム

城下工業 **SWD-DA20** デジタルヴォリューム

**iFi micro iDSD / micro iDSD Black**

以上から、機器の種類やヴォリュームの仕様に着目しつつ、順次適用箇所を選んで評価を進めていきます。その他、チャンネルデバイダーやスピーカーのレベル調整つまみなども検討してみます。

以上